

# 桜のきれいな町目指す

## 平田建設が学校林で植樹

【帯広発】(株)平田建設(土幌、長谷川雅毅社長)は4月25日、町所有の学校林において、エンヤマザクラ20

本を植樹を行った。役員約50人が参加。節目の10年目となることしも、まら全体をきれいな桜で彩るため、一丸となって作業を進めた。

この取組は、町内に13区ある行政区すべてに桜を植樹しようとして毎年実施しているもの。ことしは、新田地区の学校林に20本を植樹することとした。

参加者たちは、スコップで大きな穴を掘り、木々が等間隔に並ぶよう距離を測りながら苗木を植えた。また、苗木を固定するための補強作業も行った。

長谷川社長は「取組は10年目を迎えたが、まら全体を彩るにはまだまだ時間がかかる。10年、20年と続



参加者一丸となって作業を進めた

けた。町民に喜んでいただけるよう頑張りたい」と話していた。  
なお、植え付けた桜の数は、今回の分を含め174本となった。